

輸送の安全に関する基本的な方針

(1) 輸送の安全に関する基本的な方針の作成及び公表の実施の有無

経営トップは、運輸の安全に関する基本方針及び目標・計画を策定し、輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全を指導します。

全従業員に対し「輸送の安全の確保」が最も重要であるという意識を徹底させ、人命を第一として全社員が一丸となって絶えず輸送の安全性の向上に努めます。

法令遵守を徹底し、譲り合いの精神を掲げ、安全最優先の原則を徹底します。

輸送の安全に関する情報について公開いたします。

(2) 輸送の安全に関する目標の有無及び達成状況

経営トップは、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、また、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。事故防止に繋がる最新設備を積極的に取り入れる事。

(3) 自動車事故報告規則

(死亡事故件数 0 件、重傷事故件数 0 件、物損事故件数 0 件、事故報告書提出件数 0 件、健康起因事故数 0 件)

(4) 安全管理規定の制定の有無及び国への届出の有無

☐ 有

(5) 輸送安全の為に講じた措置及び講じようとする措置

①直近 3 年間の運輸安全マネジメント評価の実施状況

☐ 2017 年 12 月実施 済

②直近 3 年間の民間指定期間における運輸安全マネジメント認定セミナーの受講状況

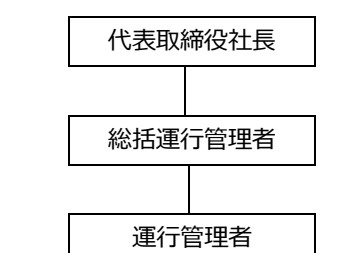
☐ 2017 年以前は省略

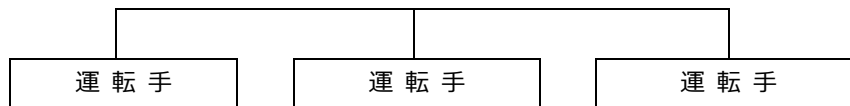
☐ 2017 年 05 月 17 日 和歌山市にて運輸安全マネジメントセミナー受講

☐ 2017 年 12 月 06 日 大阪市にて運輸安全マネジメントセミナー受講

☐ 2018 年 02 月 07 日 和歌山市にて運輸安全マネジメント・内部監査セミナー受講

(6) 運輸の安全にかかわる状況の伝達体制その他の組織体制





(7) 運輸の安全にかかわる教育及び研修の実施状況

- 通年を通して NASVA 教材による定期的な研修の実施
- 通年を通して ベテランドライバーとの添乗教育
- 通年を通して ヒヤリハットの聞き取りと共有
- 2017 年 12 月 29 日 雪道対策、チェーン脱着講習、練習
- 2017 年 12 月 30 日 白浜町消防本部にて普通救命講習をドライバー全員に受講

(8) 運輸の安全にかかわる内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

- 2017 年 08 月 24 日 和歌山市にてリスク管理セミナー受講
- 2017 年 09 月 22 日 貸切バス安全性評価制度 一つ星 獲得 認定番号 17-513
- 2017 年 11 月 17 日 運行管理者 4 名講習受講

(9) 安全統括管理者の社内における役職、選任年月日

○ 代表取締役 ○ 平成 19 年 4 月 9 日

(10) 運転者に係る情報

- ①正規雇用の運転者の人数 ○ 9 名
- ②正規雇用以外の運転者の人数 ○ 7 名
- ③健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険それぞれの加入者数 ○ 9 名
- ④平均勤続年数 ○ 5 年
- ⑤平均給与月額の水準 ○ 運輸局ブロック別報告事業者平均給与月額 基準以上

(11) 運行管理に係る情報 運行管理者及び運行管理補助者の人数 運行管理者 5 名 運行管理補助者 0 名

(12) 整備管理者に係る情報 整備管理者及び整備管理補助者の人数 整備管理者 3 名 整備管理補助者 0 名

(13) 事業用自動車に係る情報

車 種	① 保有台数	② 平均車歴 (最古車)	③ ドライブレコーダー 搭載車台数	④ デジタル式運行 記録計搭載車両台数	⑤ ASV 搭載車両台数	⑥ 主な 運行体系
大型	7 台	2 年 6 ヶ月 (4 年 2 ヶ月)	7 台	7 台	7 台	貸切
中型	4 台	1 年 5 ヶ月 (1 年 4 ヶ月)	4 台	4 台	2 台	貸切
小型	3 台	12 年 (17 年 2 ヶ月)	3 台	1 台	0 台	送迎

⑦任意保険の加入状況

- 対人無制限、対物無制限、搭乗者 1 名につき 3,000 万円、1 事故につき搭乗者上限額 18 億 3,000 万円
※搭乗者上限は座席数により変動あり。